

## 「はじめる」ことを続ける

皆さんの授業を受けている姿を見ていて感じたことがあります。皆さんが荒工で身に付けなければならない力は何だろう？確かに知識や技術も大切ですが、「**努力し続ける力**」と答える人も多いのではないのでしょうか。でも「**努力をし続ける**」ってとても大変だと思いませんか？例えば、「サッカーを頑張り続ける」「勉強をし続ける」「検定資格に向けて努力を続ける」などなど・・・皆さんの立場から考えると「とうてい無理！」「そんな力はありません」と感じることもありますよね。でも、それは違います。



先生方は、途中で疲れて立ち止まる皆さんを認めた上で、「もう一度、努力することを**はじめる**」ことを「**続けてほしい**」と願っています。社会の中で求められる力は「**努力し始める**」ことを「**続ける**」力なのだと思います。

社会の中では、「この仕事は苦手だからやりたくないな」「この人と一緒には仕事したくない」と思うことがあるはず。また、「**疲れたから休みたい**」など体の不調もあると思います。「**ずーっと頑張り続ける！**」なんて誰にでもできることではないです。だから、**止まることは仕方ないのです。また動き出せるようになったら動き始めればよい。**そんな思いが授業には込められていると感じます。

授業中、私に気づいて授業に集中したふりをする人、「**がんばれ**」と声をかけると「はい」と答えペンを動かす人などなど、少しでも努力しようとし始めてくれる姿がうれしいです。

反対に、どうやっても荒工の学びに魅力を感じられない、頑張り始めることができない人は、自分の場所（努力を始められる場所）を探したほうが良いとも思います。大切なことは、**努力をし始めることを繰り返し、成長すること**です。努力せずに「**そこにいるだけ**」では**何も成長しません**よね。もとの素材のまま社会に出ていくのでは**時間ももったいない**です。

荒工は**何度でも努力を始める皆さんを応援する学校**です。

## あらこう散歩

山形県の酒田光陵高校の課題研究発表会に行ってきました。参加させてもらった情報科の発表には「**自慢**」があふれていました。**研究の必要性（社会の役に立つ、子供たちを喜ばせたいなど）が明確で、達成するための課題は何なのか、その課題を解決するために考えられること、その考え方が正しかったのか検証し修正。**社会に同じようなアプリケーションがあるのか、自分たちのアイデアの斬新性や他にない価値のポイントは何か、聞いていて面白く、素晴らしい発表でした。皆さんは自分たちが学んでいること、荒工の学びを卒業までに**自慢**できるようになってほしいです。何でもよいです。自分が成長できたと感じる**ことができれば「自慢」はできますよ。**まだまだ、成長する時間はあるよ！



「未来を創る！彩る！荒川工業」